

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
地域助産実習	2	前期	1	実習 45時間
担当教員	久保幸代、志村千鶴子、下睦子			
授業概要	地域における妊産婦及び、新生児のケアの実際について学ぶ。具体的には、地域における助産師の活動範囲や業務管理、安全管理のための施設運営・関連機関との連携等について理解を深め、地域における助産活動の特徴を理解する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出産施設と保健センターや育児支援施設との連携活動を通して、地域における母子およびその家族へのケアの特徴を考察できる。 2. 母子およびその家族を対象とした、地域における妊娠期・産褥期の助産ケアや保健指導の具体的展開を考察できる。 			
履修条件	特になし			
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中から育児期の地域における妊産婦と新生児及びその家族とのかかわりを通し、出産後の育児支援に向け、出産施設と保健センター、育児支援施設との具体的連携を学ぶ。 ・保健センターや育児支援施設との連携活動や妊婦及び母子を対象とした保健指導(母親学級・両親学級・退院指導など)を計画し、実施・評価できる。 ・妊娠中から育児期の地域における妊産婦と新生児及びその家族とのかかわりを通し、出産後の育児支援に向け、出産施設と保健センター、育児支援施設との具体的連携を学ぶ。 ・保健センターや育児支援施設との連携活動や妊婦及び母子を対象とした保健指導(母親学級・両親学級・退院指導など)を計画し、実施・評価できる。 			
教科書	特に指定しない			
参考書	特に指定しない			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・実習中の目標達成行動の総合的評価(60%) ・実習記録による学習成果(40%) 			
事前・事後学習	<p>事前学習：妊婦及び母子を対象とした保健指導(母親学級・両親学級・退院指導など)計画立案に向け、必要な情報や資料を収集する。</p> <p>事後学習：実施した保健指導について、評価し記述する。</p>			
備考	特になし			